

(別紙)

SDGs 未来都市東広島推進パートナー宣言書

企業・団体名 安芸の山里農園 はなあふ

代表者名 森 昭暢

東広島市における活動等を通じて、次のとおりSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献することを宣言します。

1 関係するSDGs目標（ゴール）（番号に○を付けてください。複数選択可）

①		貧困をなくそう	②		飢餓をゼロに
③		すべての人に健康と福祉を	④		質の高い教育をみんなに
⑤		ジェンダー平等を実現しよう	⑥		安全な水とトイレを世界中に
⑦		エネルギーをみんなに そしてクリーンに	⑧		働きがいも経済成長も
⑨		産業と技術革新の基盤を つくろう	⑩		人や国の不平等をなくそう
⑪		住み続けられるまちづくりを	⑫		つくる責任 つかう責任
⑬		気候変動に具体的な対策を	⑭		海の豊かさを守ろう
⑮		陸の豊かさも守ろう	⑯		平和と公正をすべての人に
⑰		パートナーシップで目標を 達成しよう			

2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する内容

- ① 子ども食堂への農産物提供、農業体験の実施、自家採種の実施・タネの共有、地域資源活用型農業の栽培・経営情報の共有（論文・情報交換会などを通して）、アグロエコロジック有機農業の実施
⇒収入・資産、飢餓・栄養不良、教育・基本的サービス・資源へのアクセス改善、気候変動・災害など脆弱性を軽減。
- ② 子ども食堂への食材提供、栄養価の高い有機農産物の提供、自家採種の実施・タネの共有、小規模家族農業を目指す農業研修生の受入れ、アグロエコロジック有機農業の実施、農業生産性を高めるための研究・投資・情報共有。
⇒飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、自持続可能な食料生産を促進する。小規模家族農業型の農家の所得向上に。

③ 農福連携、土壌微生物分析・作物栄養分析の実施

⇒あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。非感染性疾・環境要因による疾患を減らす。

④ 農福連携の実施、広島伝統野菜の普及、農業体験・農業研修、小・中・高・大学の総合学習およびインターンシップの受入れ

⇒持続可能な地域農業に触れていただくことで、全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。地域における、働きがいのある人間らしい仕事を目指す若者・成人の割合を増やす。

⑤ 家族における役割分担の明確化、男女平等の雇用・農業研修の実施。

⇒ジェンダー平等を達成し、男女平等の視点で全ての女性および女性の能力強化を行う。あらゆるレベルの意思決定において女性の平等な参画とリーダーシップの機会の確保。

⑥ 土壌化学分析・土壌衛生細菌分析、生物多様性調査、井戸水の水質検査、トイレ・シャワールームの設置、アグロエコロジー的有機農業の実施

⇒全ての人々の水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する。

⑦ 農業機械における再生燃料（廃天ぷら油）の利用、地域資源（雑草、食品副産物）を活用した作物生産・草生栽培、無農薬栽培技術の情報共有。再生燃料（廃天ぷら油）を利用した車を使用して農産物の出荷・販売。

⇒全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保、再生可能エネルギーの使用の増大。

⑧ 農福連携、6次産業化、他産業と同等の労働基準で農業雇用の実施、アグロエコロジーの普及

⇒包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。

⑨ 地域資源を活用した持続可能な地域農業（アグロエコロジー的有機農業）の実施・情報共有、市・県産資材の優先利用、地域における他業種との協働活動（物流、販売、研究）、スマート農業（日誌）、インターネット販売

⇒強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る。情報通信技術へのアクセス拡大を通じて安定した農業を図る。

⑩ 農業体験・研修の受入れ（JICA・留学生を含む）

⇒地域性のあるアグロエコロジー・家族農業、および農福連携の情報共有を通じて、所得、性別、年齢、障害、人種、階級、民族、宗教、機会に基づく不平等の是正を図る。

⑪ 環境保全型農業（有機農業）の実施・普及、町内会・地域活動の参加、農業体験・農福連携の実施

⇒農業の多面的機能を維持することによって、包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な生活空間・生活を実現する。コミュニティの絆と個人の安全を強化しつつ、地域雇用を刺激する。

⑫ 地域資源を活用したアグロエコロジー的有機農業の実施・普及、契約販売、6次産業化、協働・共同出荷、再生燃料（廃てんぷら油）を利用した作物生産・販売

⇒持続可能な消費生産形態を確保する。

⑬ 再生燃料（廃天ぷら油）を利用した作物生産・販売、地域資源を活用したアグロエコロジー的有機農業の実施・普及

⇒輸入・化石燃料に依存（軽油、化学肥料）せず、Cを貯留する土づくり・栽培管理、農地生態系のレジリエンスを高めるアグロエコロジー的有機農業を通して、気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

⑭ 土壌分析に基づく施肥管理、可能な限りリサイクル可能な資材で農産物を梱包する

⇒水質汚染に繋がる環境負荷を大幅に削減し、持続可能な開発のために、海洋・沿岸生態系を保全し、持続可能な形で利用することに繋げる。

- ⑮ アグロエコロジ-的有機農業の実施・普及、草生栽培、輪作、生物多様性調査、農業体験の実施

⇒陸域生態系の保護、回復、ならびに持続可能な利用の推進、土地の劣化の防止・回復および生物多様性の損失を阻止する。

- ⑯ 有機農産物の提供、作物栄養分析の実施、栄養改善をテーマとした料理教室の協賛

⇒精神疾患の治療につながる栄養価の高い有機農産物および、栄養価の高い食事を通じて、持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進する。

- ⑰ 農業体験、農業情報共有（JICA・留学生を含む）の実施、小・中・高・大学の総合学習およびインターンシップの受入れなど教育機関との連携、農業用水路における災害復旧・復興への協力、地産地消に向けた道の駅・JA・あおびー倶楽部との連携

⇒SDG s の目標達成のためにパートナーシップの強化

※ 持続可能な開発目標（SDG s）の達成に向けて、どのような活動を実施するか、また、その活動が1で選択したゴールの達成にどう貢献するかなどについて記載してください。